

授業科目	* 臨床栄養学実習Ⅱ (Aクラス)				単位	1		
履修	必修	関連資格	栄養士 管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT22106J		
開講年次	3年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	近江 雅代、坂巻 路可							
授業概要	<p>管理栄養士は、医療チームの一員として位置づけられており、疾患の治療のため、具体的な栄養管理方法を提案できなければならない。傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理を行うためには、疾患の成因・病態ならびに治療法を把握し、身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法を理解することが必要である。</p> <p>本実習では、各疾患の病態および栄養状態を把握し、調理実習を通して、栄養・食事療法に対応できる知識および技術を修得することを目標にする。また、食事療法を必要とする疾患・病態の症例を提示し、栄養アセスメント、栄養ケア計画の実際、食事療法の調整、栄養指導までの一連の流れについて、実習する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療施設における臨床栄養管理の流れを理解し、説明できる。 2. 栄養補給法の種類と適応範囲を理解し、適確に選択できる。 3. 疾患・病態および栄養状態を把握し、治療のための栄養ケア計画を作成できる。 4. 身体状況や栄養状態に応じた疾患・病態別の献立を作成し、調理できる。 5. 食事療法に利用される治療用特殊食品の種類、特徴を理解し、説明できる。 6. 経腸栄養管理に必要な管理栄養士の知識や技術を修得できる。 7. 疾病に対応した栄養指導の計画を立案し、実施することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	10	20	10	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	20	5			5		30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20	5	5				30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5	5			10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)			5				5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	20		5				25	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1～7 の全てを達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。また、献立作成および調理に関しては、高度な技術が身に付いている。さらに、修得した知識および技術を応用して、本実習のテーマ以外の疾患の栄養管理方法を提示できる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療施設における臨床栄養管理の流れを理解し、説明できる。 2. 栄養補給法の種類と適応範囲を理解し、適確に選択できる。 3. 疾患・病態および栄養状態を把握し、治療のための栄養ケア計画を作成できる。 4. 身体状況や栄養状態に応じた疾患・病態別の献立を作成し、調理できる。 				

			5. 食事療法に利用される治療用特殊食品の種類、特徴を理解し、説明できる。 6. 経腸栄養管理に必要な管理栄養士の知識や技術を修得できる。 7. 疾病に対応した栄養指導の計画を立案し、実施することができる。	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:臨床栄養管理と献立作成(近江雅代) 医療施設における臨床栄養管理の概要、一般治療食の献立作成、展開について解説し、献立を作成する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:臨床栄養管理について整理し、理解する。献立を作成する。	30 60
2	テーマ:経腸栄養の管理(近江雅代) 経腸栄養法の特徴および投与方法について学ぶ。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:経腸栄養補給法について整理し、理解する。	30 30
3	テーマ:栄養補給法と粥食、流動食の調整(坂巻路可) 栄養補給法の種類と適応、軟食および流動食の食品選択等について解説し、調理実習を行う。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:栄養補給法と軟食および流動食について整理し、理解する。	30 30
4	テーマ:消化性潰瘍の栄養管理(坂巻路可) 消化性潰瘍の病態、食品選択等について解説し、調理実習を行う。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:消化性潰瘍の栄養管理について整理し、理解する。	30 30
5	テーマ:膵疾患の栄養管理(坂巻路可) 膵疾患の病態、食品選択等について解説し、調理実習を行う。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:膵疾患の栄養管理について整理し、理解する。	30 30
6	テーマ:肝疾患の栄養管理(近江雅代) 肝疾患の病態、食品選択等について解説し、調理実習を行う。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:肝疾患の栄養管理について整理し、理解する。	30 30
7	テーマ:糖尿病の栄養管理(近江雅代) 常食献立を糖尿病食に展開する。また、糖尿病食品交換表を用いて、献立作成を行う。糖尿病の病態、食品選択等について解説し、調理実習を行う。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:糖尿病の栄養管理について整理し、理解する。献立を展開する。	30 60
8	テーマ:高血圧症の栄養管理(近江雅代) 高血圧症の病態、食品選択等について解説し、調理実習を行う。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:高血圧症の栄養管理について整理し、理解する。	30 30
9	テーマ:脂質異常症の栄養管理(近江雅代) 脂質異常症の病態、食品選択等について解説し、調理実習を行う。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:脂質異常症の栄養管理について整理し、理解する。	30 30
10	テーマ:腎疾患の栄養管理(近江雅代) 常食献立を腎臓病食に展開する。また、腎臓病食品交換表を用いて、献立作成を行う。腎疾患の病態、食品選択等について解説し、調理実習を行う。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:腎疾患の栄養管理について整理し、理解する。献立を展開する。	30 60

11	テーマ:糖尿病腎症の栄養管理(近江雅代) 糖尿病腎症の病態、食品選択等について理解し、調理実習を行う。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:糖尿病腎症の栄養管理について整理し、理解する。	30 30
12	テーマ:実技試験(近江雅代) 食品重量を目測し、糖尿病食品交換表に基づいて、分類する。 テーマ:疾病別栄養指導 1 症例の栄養アセスメントおよび栄養ケアの目標設定を行う。	講義・実習	予習:食材を計量し、糖尿病食品交換表に基づき、分類する。 復習:試験内容について整理し、理解する。症例の栄養アセスメントおよび栄養ケアの目標設定について整理し、理解する。	30 60
13	テーマ:疾病別栄養指導 2(近江雅代) 疾病に対応した栄養ケア計画およびメディアを作成する。	講義・演習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:栄養ケア計画について整理し、理解する。メディアを仕上げる。	30 60
14	テーマ:疾病別栄養指導 3(近江雅代) 栄養指導の発表(ロールプレイ)を行う。栄養ケア記録を作成する。(発表:1~5班)	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:疾病別栄養指導および栄養ケア記録について整理し、理解する。	30 60
15	テーマ:疾病別栄養指導 4(近江雅代) 栄養指導の発表(ロールプレイ)を行う。栄養ケア記録を作成する。(発表:6~10班)	講義・試験	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:疾病別栄養指導および栄養ケア記録について整理し、理解する。	30 60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	疾患の成因・病態および治療法に関する知識ならびに栄養・食事療法に対応できる調理・栄養教育技術を必要とする。
テキスト	今井克己編：「臨床栄養学実習献立集」(同文書院) 吉田勉監修：「わかりやすい臨床栄養学」(三共出版) 日本糖尿病学会編：「糖尿病食事療法のための食品交換表(第7版)」(文光堂) 黒川清監修：「腎臓病食品交換表(第9版)」(医歯薬出版)
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて、資料を配付する。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	臨床栄養学実習2では、栄養ケアの技術について、実践的に修得します。臨床栄養管理学、栄養治療学1および栄養治療学2、栄養教育論1および栄養教育論2、栄養カウンセリング論で学んだ内容を復習するとともに、各回のテーマについては、シラバスを参照し、事前に予習をして実習に臨んでください。また、サブノートを準備し、実習後はまとめと復習をして、理解を深めてください。
達成度評価に関するコメント	試験およびレポートの内容については、授業の中で指示する。